

市議会だより

9月定例会 一般質問

●11人の議員が市政について質問しました。
●主な内容については次のとおりです。

大竹 忍 議員

「効率的な市政運営」について

問 市長が主張する税金の使い道基準を、来年度予算にどう反映しますか。

答 当面、不要不急の事業は行わず、予算の使い方を厳しく精査し、必要な事業について優先的に進めていきます。

問 市政経営品質会議を実施しました。内容と改善計画はどのようですか。

答 7月に教育委員会、8月に市民部と開催しました。

日ごろ、市民と接する機会の多い課長補佐以下の職員が参加し、経費削減、市民サービスの向上、効率化できる改善をテーマに、市長と意見交換を行いました。出された意見や提案は、今後検討し実施します。



市政経営品質会議

西尾市の「観光産業」について

問 地元産品のブランド化にどのようなものがあり、今後のブランド化計画をどのように進めていきますか。

答 西尾の抹茶が特許庁から地域ブランドとして登録されました。米、梨、キュウリがブランド名を持つほか、花卉類、食品、民芸品等

です。PRや販路拡大に努めていきます。

問 一店逸品運動を展開し、市街地の活性化を図りませんか。

答 中心市街地の活性化につながる運動を積極的に支援していきます。

六万石くるりんバス 路線拡大について

問 3路線に拡大しましたが、反響はどのようですか。

答 拡大前の1日平均利用者は1114人で、拡大後は多い日で321人、平均206人で、市内への買い物や市民病院へ行くのに便利になったなどの反響がありました。

問 東回り線の時刻表を、右左変更みぎひだりして利用者の利便性を図りませんか。

答 市民にわかりやすくするために、8時台は右回り、9時台は左回り、以後交互に巡回しています。

問 今後も路線拡大を検討しませんか。

答 3年間の施行期間とし、利用状況や市民要望など参考にし、地域公共交通会議で、協議・検討していきます。

中村 眞一 議員

地場産業の育成について

問 西尾の抹茶がブランド化されましたが、今後のPRや助成方法はどのようになりますか。

答 有松絞り祭りや岩村産業祭りなどでPRします。新たに無料接待や物産展に対する助成を考えています。

問 西尾の抹茶をPRしている団体がありますが、助成制度を考えませんか。

答 熱心に県外に出向き、PRされている団体の助成を検討します。



抹茶のPR風景

問 平成23年12月31日で効力を失う、工場等建設奨励制度の期限延長を考えると、

期限延長を検討します。

指定管理者制度について

問 指定管理者制度になり、集客数や売上げ、事業など変化がありますか。

また、自主事業は行っていますか。

答 実施前と後の3年間の平均で歴史公園では集客数は1・6倍、売り上げは2・7倍で、呈茶、お茶の販売、写真展や文化講座など、文化会館は利用数1・1倍、施設利用料で1・2倍となりましたが自主事業は実施していません。

行財政改革について

問 歴史公園周辺に、マッチした物産販売施設を建設しませんか。

公園整備計画の中で検討します。

問 広告掲載事業の媒体ごとの募集状況、広告料収入はどのようですか。

答 広報、ホームページ、封筒など267件で収入は1千301万円程です。

問 子ども課を教育委員会所管にしたことで、教育委員会が大きくなりすぎたことはありませんか。

答 大きくなりすぎたと感じていません。

問 子ども課を市長部に置か、教育委員会を2部にしませんか。

答 今後、機構の見直しの中で、2部制を含め検討します。

問 各種スポーツ振興の上からも、体育課の設置は必要ではありませんか。

答 課の設置は必要と思っておりますので、設置に向け努力します。

鈴木 規子 議員

合併の賛否は
十分な説明と住民投票を

問 降って湧いた合併ですが、どうしてもそんなに合併を急ぐのですか。

答 愛知県内では、すでに14市町が合併しています。遅いくらいです。

問 23年3月末までに合併できない時はどうするのですか。

答 不転の決意です。

問 まず、市長自身の「ブランド新市の構想」デザインを示すべきではありませんか。

答 空論では実現できないと思いますので、有識者につくってもらいます。

問 合併新法による年間20億円交付という優遇措置には間に合いません。特別に受けられるよう働きかけるといいますが、可能性はあるのですか。

答 あらゆる手段で国に要望します。

問 電算システム統合は基本部分だけで11億円と聞きますが、それ以外の統

合にはどれほどかかるのですか。

答 現時点では把握していません。

問 合併後の職員給与は、西尾市に合わせ高くすることになりませんか。

答 今後、3町と協議します。

問 合併すると、西尾市の財政力は下がりますが、市民サービスは下げないことを保障できますか。

答 特別職と議員の減で2億4千万円の縮減です。これらで、まちづくりや少子高齢化対策を維持します。

問 合併にかかる費用は膨大ですし、3町の財政力や借金の額も把握しないとメリット・デメリットも判断できないのではありませんか。

答 合併は目先の損得でやるものではありません。

問 合併の賛否は、市民にメリット・デメリットを十分に説明した後、住民投票で、決めるべきではありませんか。

答 住民意向調査がよいと思います。

問 住民意向調査で反対が多かった時は合併をやめるのですか。

答 粘り強く説明します。

新年度の市税収入の見込み

問 22年度の市税収入はどれほどと見

込んでいますか。

答 個人市民税57億3千万円、法人市民税4億9千万円ほかで、177億5千万円の見込みです。

問 市長が掲げた公約のうち、どれだけが予算化できるのですか。

答 財政状況を見ながら努力します。

高野 邦良 議員

特別支援教育の充実について

問 特別支援を必要とする子どもの指導は、本人や家族にとって満足のいくものですか。

答 一人ひとりの能力や適性などを十分配慮した支援ができるように、連絡帳で毎日の生活の様子を伝えたり、保護者会や家庭訪問をしたりしてきめ細かい対応をしています。

問 義務教育後の進路はどのようになっていますか。希望すれば、みんなが授産施設などで自立できる仕組みが整っていますか。

答 進路は、全日制高等学校、専修学校、特別支援学校高等部、職業訓練校家事従事などです。授産・更生施設を有する福祉サービス事業所が、希望に添える努力をしています。

ひとり暮らしの高齢者の
セーフティネット(安全連絡網)の
確立について

問 ひとり暮らしの高齢者はどのくらいいますか。生活の様子はどのようですか。

答 65歳以上のひとり暮らしの高齢者は、約1千560人です。その方々の生活に問題が発生したときには、民生委員や町内会等を通して、行政に連絡が入り、適切な対応をしています。

問 この方々が、様々なトラブルや災害などに巻き込まれた時のセーフティネットは、確立しつつありますか。

答 70歳訪問や友愛訪問、緊急通報端末やペンダントスイッチ、ガス漏れ警報器の設置など、きめ細かく対応しています。また、災害時には、自主防災会による安否確認や支援を行うようにしています。

人々の願いを生かした
町づくりについて

問 「赤ちゃんからお年寄りまで、安心して時を共有できる公園が近くにはしい」みんなが望んでいる実現可能な夢です。たとえば、米津町市宮蔵屋敷住宅跡地はその試金石です。市長のす

ばらしい公約どおり、分譲することなく広い公園にしませんか。

答 地元との協議を重ね、公園を含めた総合的な開発を検討していきます。

問 抹茶の生産から製品化、販売までの全てを行っている茶業農家のプライドのためにも、この町並みと稲荷山全体の景観を保存しませんか。

答 西尾茶を後世に引き継いでいくためにも、茶園風景の保全に努めるべき地域であります。

牧野 勝子 議員

西尾市・幡豆3町の合併について

問 今年度西尾市の税収減は25億円弱が見込まれています。来年度はどのように見込んでいますか。

答 平成21年度に比べ12億6千万円程の減額と予想しています。

問 市長は、合併について市民の半数が賛成と認識しておられますが、西尾市が平成14年に行った市政世論調査結果では、合併を積極的に働きかけるべきが19・3%、幡豆3町から要請があった場合検討が42・1%、合併の必要なが23・3%でした。この結果を市長は見ていますか。

答 見ていません。

問 このアンケートでは、意見欄がありませんが、その殆どが反対を書いています。合併は慎重に進めませんか。

答 西尾市民は他市から優柔不断で、自分たちで積極的に物事が決められないと言われています。

問 市民に判断力がないから、行政が決めるのは困ります。市民こそ中心であり、すべての情報を開示していくという立場を貫いていきますか。

答 情報は公開していきます。

問 これまで3町に交付されてきた普通交付税は、仮に今後も継続されても、余分に交付されるものではなく、今まで交付されていたものが5年間継続され、その後遞減(徐々に減る)されるという事実を知らせるべきではありませんか。

答 誤解のないよう説明していきます。

問 合併の方式は編入としています。議員定数は①24人とする②38人を定数とし、西尾市が24人とし、3町が14人を按分する③今の議員数60人を西尾の在任期間まで認めるという3案から選ぶということでしょうか。

答 法定合併協議会の中で決定します。

問 住民が編入合併、新設合併について理解する前に、編入と決めてしまうのは、住民軽視ではありませんか。

答 住民に論議の大前提を示したもので

です。



合併住民説明会

吉見 弘志 議員

西尾市幡豆郡の合併について

問 1市3町の合併に向けて、各市・町の住民の意識に温度差があるのではないですか。現時点で市長は、どのように把握していますか。

答 市長就任後、4人の首長で話し合いを再開し、協定項目の基本となる4項目について意見が一致し、早期合併に向けて進めていくことを確認しました。住民説明会の終了後、住民意向調査を実施する予定です。

問 合併に対する住民投票について、どのように考えていますか。

◎ 現時点では、住民投票の実施は考えておりません。今後、住民意向調査を実施し、市民の意向を把握していきます。

土地改良事業について

◎ 新矢作川用水事業の事業内容の詳細はどのようになっていますか。

◎ 平成6年度から国営かんがい排水事業「新矢作川用水農業水利事業」として着手、15年度に計画変更、22年度に完了予定で、総事業費の最終見込み額は、7月28日現在で704億4千700万円。21年度までの進捗率が97・8%となっています。

◎ 事業の負担金についてはどのように考えていますか。

◎ 負担割合は、国が66・67%、県が27・23%、地元（市町と農家）が6・1%となっています。農家負担は0・85%となっています。

◎ 現在行われている、ほ場整備事業実施地区はどこで、その進捗状況は。また今後の計画地区については、どのようになっていますか。

◎ 現在進行中は2地区で、一つは福地中部地区で、平成13年度に着手し、22年度に完了予定。もう一つは深池地区で今年度から県営事業として着手。進捗率は9%です。計画中は掘割地区

と米中地区の2地区です。

西尾市子ども会
育成連絡協議会について

◎ 平成21年度西尾市子ども会育成連絡協議会の役員数、ジュニアリーダーおよび会員数はどのようになっていますか。

◎ 会長1名、副会長3名、事務局長1名、会計1名、会計監査2名です。ジュニアリーダー会員数は108名です。市内に239の単位子ども会があり、子ども会の会員数は8月末現在で9千554名となっています。

工藤 光雄 議員

行財政改革について

◎ 1市3町の合併は、平成22年度中に合併を目指すことで合意されたようですが、それによる市町への影響と事務手続き上の影響はどのようですか。

◎ 今後、1市3町で住民説明会を行い、グラントデザイン作成業務を進め、更には、法定協議会を立ち上げていく予定で、事務手続き上の影響はないものと判断しています。

◎ 合併合意に至るまでの経緯や進め

方等に対して、一部の市民や議員、市職員から批判の声も上がっているようですが、どのように受け止めますか。

◎ 指摘を謙虚に受け止めます。今後、議会には相談や報告をその都度申し上げ、住民の合併に対する考えも住民説明会や住民意向調査で把握して、ご理解を頂きたいと思っています。

◎ 市政経営品質会議の実施に当たり、西尾方式の「5S運動」との関連をどのように考えますか。

◎ 両方の関係は、共に市民サービスの上と、業務の効率化を目的とした改革ツールとして活用していきます。

安心力社会の実現について

◎ 児童クラブの待機児童と定員に対する利用状況はどのようですか。

◎ 8月1日現在、待機児童は48人。利用状況は、総定員数340人に対して、321人の児童が利用しています。

◎ 児童クラブの保育料で、児童1人当たりの公費負担額はいかほどですか。

◎ 年間約30万円です。

◎ 児童クラブ利用者296人へのアンケート調査の結果報告をお願いします。

◎ 長期休暇に早期8時からの保育を、希望する方が約41%いました。

◎ 利用者ニーズに応えるため、次年度からの早期保育を検討しませんか。

◎ 春・夏休み等の早期保育について実施に向けて検討します。



早期保育が検討される児童クラブ

広中 利臣 議員

おもちゃの駅と
ティーンズプラザ設置等について

◎ おもちゃの遊び方を教える等の交流の駅と、中高校生等のためのティーンズプラザや、チタンの里・鑄造資料館と、綿祖・織物記念館を設置しませんか。

◎ ティーンズプラザは検討しますが、あとは考えていません。

マタニティー・スタート事業等について

問 出産を控えた両親のためのコンサート開催や、絵本等を配布するマタニティー・スタート事業と、学用品スタート事業と、就学支援報奨事業や、高校や大学進学のための塾費用や大学受験のための支援貸付制度を創設しませんか。

答 コンサートは支援しますが、あとは考えていません。

問 障害者や高齢者のためのアクセシビリティ（ICT機器やサービスの利用できる可能性）の充実を図り、ICT教育の環境の整備のための教員研修会等を開催し、メディアコーディネーター育成講座を開設しませんか。

また、シルバー・ニューディール（高齢者標準の社会づくり）の年齢を感じさせない街づくり計画を策定し、元氣往來の健康の駅を設置しませんか。

答 シルバー・ニューディールは、総合的な計画の中で策定し、アクセシビリティは普及啓発しますが、あとは考えていません。

問 共同溝化等防災ニューディールのインフラ整備計画を策定し、BCP（事業継続）の民間との連携対策を進め、地デジ放送の新たな電波障害の対策チームを設置し、低所得者向けにデジタ

ル放送用チューナー配布要綱を作成しませんか。

また、政策市役所構築のプロジェクトチームとヒューマンエラー等対策チームを設置しませんか。

答 共同溝化は策定済みで、BCPは検討しますが、あとは考えていません。

問 商店街振興組合などの事業計画プロジェクトチームと、人材育成の仮称元氣塾を設置しませんか。

また、タクシー防護板設置の経費を助成しませんか。

答 防護は自社でお願いし、あとは支援をしていきます。

問 ヒプワクチンの助成制度を創設し、各家庭に接種の案内を通知しませんか。

また、医療費未収金回収の一部を市税等徴収推進員に委託しませんか。

答 委託は検討しますが、あとは考えていません。

牧野 次郎 議員

貧困と格差の拡大から子どもたちを守るために

問 後期の次世代育成支援行動計画に、子どもの貧困問題を反映しますか。

答 早速、策定協議会を発足し、施策の現状と課題等を整備して、目標水準

の設定を行います。子どもの貧困については、現況調査も検討して、指摘を協議会に提供していきます。

問 就学援助制度の支給内容・支給金額・認定方法・認定基準の拡充が必要ではありませんか。

答 就学援助の受給率は、全国平均13・74%、愛知県平均8・94%、西尾市は3・31%です。西尾市は給付認定の所得基準を定めていないので、認定方法、認定基準などについての検討をしていきます。

問 母子・父子家庭の学童保育料の減免はどのようですか。

答 現状は減免規程がありませんので、次世代育成支援行動計画の中で検討していきます。

問 国民健康保険では、所得のない子どもでも一律に均等割額2万4千円が上乗せされます。子育て世帯の負担軽減に、子どもの均等割税額の軽減をしませんか。

答 15歳までの子どもにかかる均等割国保税額は世帯平均で3万4千295円となっています。国民健康保険は加入者全員で負担能力に応じて均等割を負担していただく制度ですので、現在は考えていません。



災害に強い街づくりについて

問 遅れている民間住宅の耐震改修を促進するために、住宅耐震改修補助制度に簡易耐震改修や非木造戸建て住宅集合住宅の耐震改修補助の実施などの検討は進めていますか。

答 早期に高齢者世帯住宅の耐震改修費用負担の軽減を検討し、また、耐震補強の代替措置としての改修工法や、民間非木造住宅、集合住宅の費用負担を軽減できる安価な耐震改修システムの普及、促進に努めています。

問 急傾斜地の状況と対策はどのようですか。また、危険時の啓発や指導はどのようですか。

答 西尾市内では、急傾斜地危険箇所は33か所あり、想定被害区域内の家屋数は276軒となっています。面積と居住者は算出していません。ハード面では室場別管地区の整備に向け愛知県が計画を策定しています。ソフト面では、土砂災害ハザードマップを関係町内会に配布しました。

長谷川敏廣 議員

市民病院改革について

問 市民病院は、公立病院の役割として救急医療体制の整備、小児科、産婦

人科など不採算な分野を担い、どうしても避けられない負担があります。そうした中で市民の安全を守るためには医師の充実が必須となりますが、医師確保の取り組みはどのようですか。

答 医師確保については、大学医局への派遣依頼を中心に今後も行なっていく予定です。研修医師の勤務先として西尾市民病院を選択していただくには、処遇の改善を図り、2年間の初期研修終了後は正規医師として採用し、定着化を図っています。

問 市民病院では、入院医療費を出来高払いから診断群別包括評価制度(DPC)に変更しています。これは、厚労省の定める一定の基準を満たした病院に認められたものですが、採用したことの影響はどのようですか。

答 西尾市民病院改革プランで、市民病院の将来像、目標として急性期の入院中心の医療を行なうこととしており、昨年12月から7対1看護基準を取得し、また、本年4月からDPCを導入しています。その影響は、入院単価の上昇に結びついており、平均在院日数の短縮、病床利用率の減少にも繋がっています。

幹線道路の整備について

問 安城一色線道路は、最も基本的な社会インフラであり、交通ネットワーク

ク整備は物流、移動の効率化を進め、この地域の産業、経済の安定、発展並びに緊急時の対応などに大きく貢献するものであります。平成19年度から本格的な測量を開始していますが、今後の推進状況はどのようですか。

答 都市計画道路中畑本町線から一般県道米津平坂線までの予備設計を行い、道路管理者との協議や公安委員会と協議を進めており、今年度、協議が整い次第、用地測量調査を行なうとともに、国庫補助事業での採択に向けて手続きを進めていくと県から聞いています。

問 進捗状況及び近未来計画を、地域に説明する場を設けませんか。

答 国庫補助の採択の見通しがついた段階で、地元説明会を開催していきます。



早期整備が望まれる安城一色線道路予定地

安藤 好実 議員

環境と地産地消のあり方について

問 市長は環境教育に力を入れると公約していますが、来年度の予算編成を控え、実施していくものは何がありますか。また、来年度以降は、どのような考え方を持っていますか。

答 中学校の中から2校に発電能力10キロワットの太陽光発電装置を設置する予定です。来年度以降も継続して設置していきたいと考えています。校庭の芝生化など、緑化推進については、PTAや学校管理者を始め、地域住民の理解が得られたところから実施していきます。



太陽光パネル設置(イメージ)

問 食育や地産地消の拠点ともなる福地南部地域活性化事業の進捗状況は、どのようですか。

答 管理運営主体であるJ A西三河内郡で市が策定した整備計画案をもとに、検討している段階です。

合併に向けた施策について

問 3町からも多くの人が集まる西尾

市憩の農園は、市の都市計画マスタープランでは、まちづくりの核とすることが明記されています。これをより良い施設に付帯できるように進めていく考えはありませんか。

答 憩の農園については、経済性や効率性など、より機能アップした内容とするようJ A西三河で検討されています。付帯施設については、この計画が公表された段階で、一色悪水の親水化事業とあわせ、他に国、県の採択可能な補助事業を研究して整備を進めたいと考えています。

問 憩いの農園は、1市3町が合併した場合、市域の中心となります。福地地区の活性化事業に力を入れていきます。新たな駅の設置は、今後の検討課題とします。

答 1市3町が合併した場合、市域の中心となることを踏まえ、福地地区の活性化事業に力を入れていきます。新たな駅の設置は、今後の検討課題とします。

問 合併後には、総合計画を新たに作ると思いますが、人口が増える夢のある施策として、新駅の南は憩の農園、駅の北は名鉄タクシー乗り場を作り、地域の活性化が図れる将来ビジョンを作成しませんか。

答 グランドデザインを作成するに当たり参考にして、検討させていただきます。



9月定例会で可決された議案



- ★西尾市固定資産評価委員に、村松龍己氏の選任に同意しました。
- ★西尾市副市長に、大竹茂暉氏の選任に同意しました。
- ★西尾市教育委員会委員に、浅岡文雄氏の任命に同意しました。

★地方自治法第96条第2項の規定による西尾市議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	定住自立圏形成協定の締結等を議会で議決すべき事件とするため、新たに条例を制定するものです。
★西尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間の出産について出産育児一時金を35万円から39万円（産科医療補償制度に加入する医療機関等の出産の場合は38万円から42万円）とするため、改正するものです。
★西尾市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部を改正する条例の制定について	西尾幡豆都市計画中畑平坂工業団地地区計画が都市計画決定されることに伴い適用区域を追加するため、改正するものです。
★市道路線の認定について	市道として整備する道路1路線及び開発行為により建設された道路1路線をそれぞれ管理するため、市道認定するものです。
★道の駅にしお岡ノ山の指定管理者の指定について	道の駅にしお岡ノ山の指定管理者を指定するものです。
★愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	清須市と合併する春日町が、愛知県後期高齢者医療広域連合から脱退することにより、愛知県後期高齢者医療広域連合規約を変更するものです。
★財産の取得について	水槽付消防ポンプ自動車を更新整備するものです。
平成21年度9月補正予算では、一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、病院事業会計を可決しました。また、平成20年度の歳入歳出決算では、一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、病院事業会計の決算を認定しました。	

陳情書

★西尾市幡豆郡三町合併協議会の設置についての陳情書	社団法人 西尾幡豆青年会議所 理事長 野村和弘	継続審査
★学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書	西尾市教職員組合 執行委員長 牧野伸 他423人	採択
★西尾市幡豆郡三町合併についての陳情書	西尾商工会議所 会頭 都築勝久	継続審査
★国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	西尾市中畑1丁目 古久根やよい 他2団体	趣旨採択
★愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	西尾市中畑1丁目 古久根やよい 他2団体	趣旨採択
★市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書	西尾市中畑1丁目 古久根やよい 他2団体	趣旨採択

意見書

次の意見書を、国会及び関係行政庁に提出しました。

「学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書」	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣あて
------------------------------	---------------------------

議会の傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

- ※ 本会議、委員会は午前 10 時から開会します。
なお、市民病院改革特別委員会は午後 1 時30分から開会します。
- ※ 本会議は議場、委員会は第 1 委員会室で行います。
- ※ 車椅子の方も傍聴できます。また、本会議では難聴者用のイヤホンの貸出しもしています。
- ※ 日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 0563 - 56 - 2111 (内線 6102)

● 9 月定例会の傍聴者は延べ 47 人でした。



本会議風景

12月定例会開催予定のお知らせ

12月1日(火)	本会議(教育方針演説、一般質問)
12月2日(水)	本会議(一般質問)
12月3日(木)	本会議(議案上程等)
12月7日(月)	経済建設委員会
12月8日(火)	厚生教育委員会
12月9日(水)	企画総務委員会
12月10日(木)	庁舎建設特別委員会 市民病院改革特別委員会
12月18日(金)	本会議(委員長報告等)

本会議映像のインターネット配信を始めました。

市民のみなさまに議会の様子をさらに広く知っていただくために、9 月定例会から本会議映像のインターネット配信を行っています。

一般質問などの録画映像を 2 週間以内に公開し、日付や議員名など見たい場面からいつでも検索できます。

※西尾市議会ホームページから、アクセスできますので、ぜひ一度ご覧ください。

議会テレビ中継のお知らせ(予定)

放送日(放送内容)	放送開始時間
12月2日(12/1 教育方針演説、一般質問)	18:00
12月4日(12/2 一般質問)	18:00

一般質問等ケーブルテレビのキャッチ 16CH (デジタル 107CH) で放映します。
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。
また、市議会ホームページでもお知らせしますのでご確認ください。

編集室

8 月 30 日に衆議院選挙が行われ、政権交代により、民主党を主体とした鳩山由紀夫内閣が誕生しました。その結果、国の補正予算の執行並びに平成 22 年度予算の編成が大きく変わろうとしています。

このような情勢の中、9 月議会が 9 月 1 日から 28 日まで開会されました。

そこで、9 月 1 日、2 日の両日に一般質問があり、11 人の議員が市政について一般質問をしました。ご一読を！

ネット豆知識

『政権交代(せいけんこうたい)』とは？

選挙を経て、それまで政権を担っていた与党が、野党に取って代わることを指す。(必ずしも選挙による交代であることは問わない場合もある。)

日本の戦後において、選挙を経た政権交代過去 2 回の事例

- ① 第 1 次吉田内閣 ↓ 片山内閣 (1947 年)
- ② 宮澤内閣 ↓ 細川内閣 (1993 年)

議会だより編集委員

◎ 田中 弘 ○ 吉見 弘志
稲垣 昌利 鈴木 亨
高野 邦良 稲垣 正明
広中 利臣 牧野 勝子

西尾市議会だより編集委員会
電話 56-2111
FAX 54-0311

■ホームページ (<http://gikai.city.nishio.aichi.jp/kaigiroku/>) で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。